

# 看護分野における「技術」ということばの意味

大津 廣子

鈴鹿医療科学大学 客員教授

## 寄稿

## 看護分野における「技術」ということばの意味

大津 廣子

鈴鹿医療科学大学 客員教授

キーワード： 技術の意味, 看護技術

## 要旨

「看護技術」ということばは、なぜ「技術」ということばを使用しているのかに拘り、一般的に使用されている「技術」のことばに含まれている意味を確認し、看護分野において「技術」ということばを使用している意味について検討した。

一般的に「技術」ということばは、人間が道具を用いて目的をもって、自然に働きかけてものをつくることの意味があり、人間が手とところを使って、なにか生産することに関わっているという意味を含んでいる。したがって、看護分野においても「技術」ということばを使用しているのであれば、看護師が手とところを使って、看護を必要としている人々に望ましい健康上の変化を生み出す行動をしなければならないといえる。その点が、「看護方法」という表現との相違であるといえる。

「技術」がものをつくることに関わることばであることから、看護教員は単にやり方や手順や根拠を教えるという技術指導ではなく、「ものを生産する」という技術論の観点をふまえ、「技術」ということばの意味を理解したうえで、看護技術を指導する姿勢が重要であると考え。その意味で、これからも技術教育のあり方がつねに問い直さなければならないといえる。

## 1. はじめに

従来より、看護は実践の科学であるといわれている。そのために看護基礎教育では、看護専門職として必要な知識・技術・態度を修得させることを目的としてきた。一般的に、知識とはある事柄などについて理解し知っている内容であり、技術とはものごとを取り扱ったりする時の方法や手段、それを行うわざを言う。さらに態度とは、物事に対する時に感じたり考えたことが言葉・表情・動作に現れたものであり、事に臨むときの心構えや身構えを言う。それゆえ、看護を学ぶ学生には、人々の健康の予防・保持増進に関する知識を修得させ、看護の方法や手段、さらに看護専門職としての心構えや身構えを身に付けさせる必要がある。

ところで看護分野では、一般的に看護を実践する方法や手段を教育することを、「看護技術を教える。」や「看護技術を身に付ける。」、「看護技術教育」ということばを使用し、「看護の手段を身に付ける。」「看護方法教育」ということばを使用することが少ない。

言うまでもなくことばは我々にとり考えるための道具であり、コミュニケーションの手段である<sup>1)</sup>。ことばは、音声や文字によって人の感情・思想を伝える表現法であることから人に教える立場にある者は、使用することばの意味を理解し伝えていく必要があると考える。看護分野で、「手段」や「方法」ではなく「看護技術」と表現していることにはどのような意味があるのか、そのことばが伝えたいことは何なのかについて、認識し看護技術の教育を実施していく必要があると考える。

そこで本論は、一般的に使用されている「技術」という言葉の意味を再確認し、看護技術として「技術」ということばを使用する意味について再考する。

## 2. 「技術」ということばの意味

「技術」ということば、ギリシャ語ではテクネであり、生み出すという動詞からきている。我が国における「技術」ということばは、江戸末期までは芸であり芸術でもあり区別されてはいなかったが、西周が「芸術」に対し「技

術」という訳語を提唱し、1871年に明治政府が官庁用語として、はじめて「技術」ということばを用いた<sup>2)</sup>。1880年代に近代産業技術や機械技術として「技術」ということばが多く使用されたが、「技術とは何か」という概念確立はなされなかった。「技術」ということばが、日常生活の中で使用されるようになったのは大正デモクラシー期である<sup>3)</sup>とされている。

一般的に「技術」の「技」は「手業をなす」意味であり「術」は目的をもって行動・実践する意味を表す。そのことから「技術」ということばは、人間が道具を用いて目的をもって、自然に働きかけてものをつくることの意味がある<sup>4)</sup>。換言すれば、技術とは人間が手とところを使って、なにか生産することに関わっているという意味を含んでいるといえる。

現在では「技術」ということばは、「技術革新」や「裁縫の技術」「技術移転」「産業技術」「知的生産の技術」など広い領域にわたり使用されているが、いずれの分野も人間が手とところや道具を用いて、何か生産することに関わっているといえる。したがって、看護分野においても看護技術ということばを使用しているのであれば、看護師が手とところを使ってなにか生産することに関わっていないといけない。看護師は何を生産しているのだろうか。

野島は、看護技術は、看護師が看護実践活動を具体的にすすめるために活用する手段であり、看護関係の生成過程の中でクライアントが「現在像」から「修復像」に向けて変化する過程に適用されることから、看護技術とは看護関係の生成過程において、クライアントの中に、望ましい健康上の変化を生み出す人間行動の形のことである<sup>5)</sup>と述べている。そして野島は、看護技術に関係する用語を「技術 (art)」と区別して次のように定義している<sup>6)</sup>。手順 (procedure) とは、技術目的を実現するために行う、諸手段の配列や操作の順序のことであり、技法 (technique) とは、技術目的を実現するために用いられる方法や手段の操作のしかたのことである。そして技能 (skill) とは、直感や経験により修得された順序に従って操作することで技術の目的を実現する人間行動の形のことである。これらのことから看護師が手とところを使って

生産していることは、クライアントにとっての「望ましい健康上の変化を生み出す。」ことであると理解することができる。したがって、看護分野で用いている「技術」ということばの意味は、看護実践活動を進めるために活用する手段ではあるが、その手段は望ましい健康上の変化を生み出す行動の意味を含んでおり、一般的に他の分野で使用されている「技術」の意味と同様の意味で使用されていると考えることができる。その点が、「看護方法」という表現との相違であるといえる。

次に、「看護技術」ということばがいつごろから使用されたのか、我が国の看護職の一定水準を記載している保健師助産師看護師学校養成所指定規則（以下、指定規則とよぶ。）の変遷とその時期に使用されていた看護技術の教本を通じてみてみよう。

### 3. 保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変遷における「技術」ということば

学校教育では、教育課程（以下、カリキュラムという。）を作成するときには、どのような人材を育成するのかという理念をもとに教育目的・教育目標を作成し、その目的・目標を達成するために相応しい学習内容を精選する。そして精選された内容に適した教科目名をつけ、教える順序を考慮しカリキュラム編成を行う。看護教育においても同様である。

わが国の看護教育がはじめて国家水準で実施されるようになったのは、戦後である。1948年の保健婦助産婦看護婦法（2002年3月より「婦」から「師」に改正）の制定に伴い1949年に指定規則が公布されたが、この内容は1947年に制定された保健婦助産婦看護婦令を引き継いだものであり、甲種看護婦、乙種看護婦の教育内容であった。1951年に保健婦助産婦看護婦法の改正により看護師、准看護師が新設され、指定規則は大幅に改正され、現在の指定規則の原型となっている<sup>7)</sup>。この指定規則は、我が国の看護職の一定水準を備えた学校及び養成所を指定する基準と手続きを定めたものであり、施設・設備や教員および入学資格、教科目・時間数などの教育内容について記載されている。その指定規則に準

じて保健師・助産師・看護師学校養成所はカリキュラムを作成し教育を実施していくのである。

わが国の看護職の国家水準確保という機能を果たす指定規則は、社会の変化、疾病構造の変化に伴い、国民が求めている看護師を育成することを目的に教科目や時間数などの教育内容がたびたび改正されてきた。看護師（3年課程）学校養成所の教育内容に限定してみると、今日まで5回の改正がなされている（表1）。

#### 1) 1951年の指定規則に定められた教育内容

1950年代の社会は、自動車が急増し大阪で戦後初のコンクリート造りの公営住宅が完成するなど、国民は戦後から立ち直ろうとしている時代であった。我が国の看護を取り巻く環境は、1950年に厚生省が完全看護制度を打ち出し、第1回看護婦国家試験がおこなわれ、1951年には世界保健機構（WHO）に正式に加盟するなど世界にも目を向けようとしていた。このような時代に改正された指定規則の教育内容は、甲種看護婦養成所カリキュラムから看護婦養成所カリキュラムに改正され、看護に関する教科目名をみると「看護倫理」「看護原理および実際」「内科学および看護法」「外科学および看護法」という科目が設定された。看護原理や実際、看護法という表記であり、まだ看護技術という科目名はみられていない。

この当時に使用されていた教本をみると、連合軍最高司令部公衆衛生福祉局看護課の初代課長として赴任したオルトが、アメリカの看護関係図書を翻訳紹介した『看護実習教本』（東京看護教育模範学院編：メジカルフレンド社、1947）がある。この『看護実習教本』は、基礎看護法、診断課程介助、治療処置、内科外科看護法総論、特殊施設の5部に分かれて構成されている。基礎看護法には、ベッドの作り方、寝衣の着せ替え方、便器、尿器の与え方、全身清拭などについて、治療処置には、浣腸、導尿、投薬法、皮下注射法、筋肉注射法、胃管栄養法などについて書かれている。どの項目も目的、注意事項、必要物品、手順としての方法について書かれた内容であり、この教本が全国的に看護学校の「基礎看護

表1 指定規則の看護に関する教育内容の変遷（看護師—3年課程）

	1951 (昭和26)年	1967 (昭42)年	1989 (平成元)年	1996 (平成8)年	2008 (平成20)年
看護学に関する内訳	看護史、 看護倫理（職業調整） 看護原理及び 実際、 公衆衛生看護 概論 内科学及び看 護法、 外科学及び看 護法 伝染病学及び 看護法 小児科学及び 看護法 産婦人科学及 び看護法 精神病学及び 看護法	看護学総論 看護概論 看護技術 総合看護 成人看護学 成人看護概論 成人保健 成人疾患と看護 小児看護学 小児看護概論 小児保健 小児疾患と看護 母性看護学 母性看護概論 母性保健 母性疾患と看護	基礎看護学 看護学概論 基礎看護技術 臨床看護総論 成人看護学 成人看護概論 成人保健 成人臨床看護 老人看護学 成人看護概論 成人保健 成人臨床看護 小児看護学 小児看護概論 小児保健 小児臨床看護 母性看護学 母性看護概論 母性保健 母性臨床看護	基礎看護学 在宅看護論 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学	基礎看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学 在宅看護論 看護の統合と 実践

注：保健師助産師看護師法編纂委員会：保健師助産師看護師法60年史・看護行政のあゆみと看護の発展，日本看護協会出版会，2009.を参考にして筆者が作成。

護」の実習教科書として使用されていた<sup>8)</sup>。このような状況のなか、1951年の改正で設定された「看護原理及び実際」の教本として使用されたのは、『看護実習教本』をもとに出版された『基礎看護』（吉田時子著：メジカルフレンド社，1954）であり<sup>9)</sup>，その内容は、項目ごとにその必要物品や手順，留意事項について書かれた内容であった。

## 2) 1967年の指定規則に定められた教育内容

1967年当時の社会の動きは、高度経済成長をめざしていた時代であった。看護を取り巻く環境は、1964年に高校職業教育の一環として高等学校衛生看護科の設置、

聖路加看護大学の発足がみられる。1967年には大阪大学に国立大学で最初の短期大学部看護科が発足し、日本看護学会が創設された時代背景のなか、1967年の指定規則は改正された。

改正された指定規則の教育内容は、包括医療や総合看護の考え方の普及，医学の枠組みから看護学の枠組みへの転換を意図したものであり，医療が人間を総合的にとらえ，健康の保持増進，疾病予防から社会復帰を含めて健康のあらゆるレベルに対して働きかけていこうとする概念の拡大に対応し，看護教育も対症看護にとどまらず全人的な看護を目指すものとして専門科目を看護学として独立させる改正であった。

看護学の教科目は「看護学総論」「成人看護学」「小

児看護学」「母性看護学」を4つの柱として構成し、看護学総論の内訳として「看護概論」「看護技術」「総合実習」の3科目が表記された。この年の改正ではじめて看護技術という科目名が公の科目となった。

看護技術という教科目ではどのような内容を教授していたかは、当時多くの看護学校で使用されていた『最新看護学全書 13 看護学総論 II』（吉田時子著：メジカルフレンド社、1968）の内容から推察することができる。その内容は、看護行為の基本的要素、観察、記録・報告、ボディメカニクス、安全、感染予防、看護計画、生活の援助（環境・栄養と食事・排泄・清潔・運動 休息 安楽・リハビリテーション・危篤時の看護）、診療への協力（診察と検査・体温 脈拍 呼吸および血圧の測定・身体各部の測定・包帯法・浣腸・導尿・経管栄養法・電法・与薬・吸入・吸引・洗浄・穿刺）で構成され、技術を実施する時に理解していなければならない関連知識や留意点、方法の記載があり、方法として必要物品や手順が記載されていた。これらの記載内容は、『看護実習教本』をもとに出版された『基礎看護』（吉田時子著：メジカルフレンド社、1954）に類似していることが伺える。

### 3) 1989年の指定規則に定められた教育内容

1980年代から少子高齢化が急速に進み、疾病構造の変化に伴い医療の場は病院から在宅へと移行し保健医療を取り巻く環境は大きく変化した。指定規則が改正された当時の社会の動きをみると、年号が平成となり、厚生省は一定の基準に達している施設を緩和ケア病棟として認可を開始した時代である。看護を取り巻く環境は、1988年に聖路加看護大学大学院に博士課程ができ、私立総合大学で最初となる北里大学看護学部が設立された。また訪問看護等在宅ケア総合推進モデル事業が始まった時代背景のなか、看護専門職として質の高い看護のできる人材育成をめざして、約20年ぶりの改正がなされた。改正の考え方は、医療の進歩に対応できる判断能力や問題解決能力を身に着けるための幅広い学習を目指したゆとりあるカリキュラムにすることや、さまざまな健康段階に対応できるための知識を重視すること、チーム医

療を推進できるよう多職種との連携をはかる教育を行うことであった。

看護に関する教科目をみると「看護学総論」は「基礎看護学」と科目名が変更され、「看護技術」は「基礎看護技術」となった。「成人看護学」「小児看護学」「母性看護学」に加え「老人看護学」が新たに設立されたことは少子高齢化の社会に対応したものと考える。

この当時に発刊されていた『基礎看護技術・第3版』（氏家幸子著：医学書院、1990）の編纂について、氏家は、看護専門職の看護技術は科学的思考により熟練した技で行う行為であり、その行為は常に創造性を発揮するものであると考え、Artを志向したと述べている<sup>10)</sup>。その構成は看護技術の基礎を教育する内容とし、日常生活の援助、診療に伴う看護、看護行動に共通する行為とし項目ごとに、意義や基礎知識、具体的な実施内容（目的、使用物品、留意事項、実施手順）でまとめられている。時代の要請に対応して初版本の内容を部分的に変更し改定しているものの、基本的にこの構成内容は、氏家が『基礎看護』（吉田時子著：メジカルフレンド社、1954）を学びの源流としている<sup>11)</sup>と述べているように、『基礎看護』とよく似た構成であることが伺える。

### 4) 1996年の指定規則に定められた教育内容

この当時の社会は、少子高齢化が急速に進展し在宅療養者が増大していた。1995年に阪神・淡路大震災が発生した時代であり、1996年に厚生省はこれまでの成人病を生活習慣病に名称変更した。看護を取り巻く環境は、1994年に初の保健士が誕生し、1995年には専門学校卒業生に「専門士」の称号が与えられ、1997年には介護保険法が成立した。

1996年の改正による教育内容のねらいは、高齢化や在宅療養者の増加に伴う国民のニーズの拡大への対応や、看護を取り巻く環境の変化に柔軟に対応できるように各養成所が創意工夫のあるカリキュラムを編成しゆとりと魅力の向上を図ることを可能にしたものであった。

看護に関する教科目をみると、これまでの基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学に加え精神看護

学、在宅看護論の新設とともに、老人看護学が老年看護学に名称変更され、教科科目から教育内容による表示となった。これまで基礎看護技術は教科科目名として記載されていたが、その表記がなくなり基礎看護学という教育内容に包含され、各看護学及び在宅看護論に共通する基礎的理論や基礎的技術を学ぶ内容とすると記載されている。

## 5) 2008年の指定規則に定められた教育内容

この当時の看護を取り巻く環境は、医療の高度専門化が進むなか、安全で安心できる医療提供体制の構築を目指した医療提供体制の改革ビジョンが2003年に打ち出され、看護基礎教育も充実した質の高い教育が求められていた。特に新卒看護師の臨床実践能力の低下が問題となり看護実践能力を強化することを意図して2008年の指定規則は改正された。

看護に関する教育内容をみると、専門分野の構造化を図り「専門分野Ⅰ」「専門分野Ⅱ」「統合分野」とし、統合分野は「在宅看護論」と「看護の統合と実践」で構成している。「専門分野Ⅰ」は基礎看護学の内容であり、コミュニケーション、フィジカルアセスメントを強化し、事例等に対して看護技術を適用する方法の基礎を学ぶと記載されている。そして、看護基礎教育の技術項目の卒業時の到達度を明確化して提示している。

この当時に発行されていた『新体系看護学全書 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ』（深井喜代子編：メジカルフレンド社、2007）は、基礎看護技術は科学的な基盤をもつべきであるとの考えから、手順のみを漠然と示すことを避けて、技術の目的やなぜこの点に留意するのかなどの根拠を意識させる内容になっている。

## 4. 望ましい看護技術指導とは

「技術」ということばは、ものをつくるという意味を含んでいることから、看護技術を指導する教員は、「技術とは何か」を正確に把握し、「技術」ということばの本来の意味を十分理解したうえで、学生に伝え技術指導を行うこ

とが重要であり、技術教育を行う上で最も基本的なことであると考ええる。しかし、現実はこの点を十分に把握しないまま技術を指導している教員が多いのではないだろうか。

前述したように、1951年、1967年の指定規則改正時に教材として使用されていた教本は、『看護実習教本』（東京看護教育模範学院編：メジカルフレンド社、1947）をもとに編集された『基礎看護』（吉田時子著：メジカルフレンド社、1954）であり、その『基礎看護』をもとに編集された『最新看護学全書13 看護学総論Ⅱ』（吉田時子著：メジカルフレンド社、1968）である。それらの教本の構成内容は、必要物品や手順という表記がなされていることから、「技術」ということばの持つ意味を十分理解しないまま、当時の看護教員は手順を重視した技術指導をしていたと考える。そして1989年の指定規則改正の考え方が、医療の進歩に対応できる判断能力や問題解決能力を身に着けるための幅広い学習を目指したゆとりあるカリキュラムにすることや、さまざまな健康段階に対応できるための知識を重視することが強調されてから、看護技術の指導に関する考え方は、これまでの手順（procedure）教育が否定され、根拠や理論を重視した技術指導が推奨される傾向になった。この傾向は、ますます「技術」ということばのもつ意味を理解しないで技術指導がなされる状況になったと考える。

看護専門職の看護技術は、科学的な思考により熟練した技で行う行為であり、常に創造性を発揮するものである<sup>13)</sup>。したがって看護教員が看護技術指導を実施するには、手順（procedure）の段階、技法（technique）の段階、技能（skill）の段階がある<sup>13)</sup>ことを理解し、最終的に看護師の手とところを使って、看護を必要としている人々の、望ましい健康上の変化を生み出すという創造性を発揮する技術（art）を学生に修得させるような指導を行うことが肝要であると考ええる。

## 5. おわりに

看護分野において、なぜ「技術」ということばを使用しているのかに拘り、一般的に使用されている「技術」

の言葉に含まれている意味を確認し、看護分野における「技術」ということばの意味についてみてきた。

看護技術の指導は看護教員の演示をみせて、学生に体験させながら技術を修得させることが効果的な指導である。しかし、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）予防に努めなければならない昨今は、学生と対面で授業を行うことが困難な状況である。遠隔授業では限界があり、学生の技術習得の低下が懸念される。

どのような状況であろうとも、「技術」がものをつくることに関わることばであることから、看護教員は単にやり方や手順や根拠を教えるという技術指導ではなく、「ものを生産する」という技術論の観点をふまえ、「技術」ということばの意味を理解したうえで、看護技術を指導する姿勢が重要であると考え。その意味で、これからも技術教育のあり方がつねに問い直さなければならないといえる。

## 引用文献

- 1) 飯田賢一. 一語の辞典・技術. 三省堂, 東京, p19, 1995.
- 2) 飯田賢一. 前掲書, p75.
- 3) 飯田賢一. 前掲書, p111.
- 4) 飯田賢一. 前掲書, p6.
- 5) 野島良子. 看護論. へるす出版, 東京, p166, 1984.
- 6) 野島良子. 前掲書, p167.
- 7) 保健師助産師看護師法 60 年史編纂委員会. 保健師助産師看護師法 60 年史—看護行政のあゆみと看護の発展. 日本看護協会出版会, 東京, p93,2009.
- 8) 氏家幸子. 看護技術・教材の歴史的考察. 看護教育. 2006; 47: 1052-1060.
- 9) 氏家幸子. 前掲書, p1055.
- 10) 氏家幸子. 前掲書, p1058.
- 11) 氏家幸子. 前掲書, p1055.
- 12) 氏家幸子. 前掲書, p1058.
- 13) 野島良子. 前掲書, p167-168.

## — プロフィール —

**大津 廣子** 鈴鹿医療科学大学 客員教授 博士（経済学）

〔経歴〕1992年名古屋市立大学大学院経済学研究科修士課程修了, 2001年岐阜大学医学部看護学科教授, 2007年名古屋市立大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得後退学, 2007年愛知県立看護大学看護学部教授, 2015年鈴鹿医療科学大学看護学部特任教授, 2021年より現職。〔専門〕基礎看護学, 看護教育, 看護技術教育。



# **The Meaning of the Term "Art" Being Used in the Field of Nursing**

Hiroko OTSU

Suzuka University of Medical Science

**Key words:** the meaning of "art", nursing art

---

## **Abstract**

The purpose of this study is to elucidate the reason why the term "art" is used in the expression "nursing art." First, the general meaning that the term "art" connotes is clarified, and then the significance of the term "art" being used in the field of nursing is further discussed.

Generally, the term "art" contains a meaning that humans are involved in making something with their hands and minds. Just as in the nursing field, it can be said that where the term "art" is used, nurses should take action using their hands and minds to generate a desirable change in the health of a patient who needs nursing. That is exactly where the term "nursing art" is different from the expression "nursing methods."

The study leads us to think that it is important for nursing teachers to have an attitude of teaching nursing art based on the understanding of the meaning of the term "art," which is related to the act of producing something, incorporating an artistic viewpoint instead of just providing technical instruction such as how to perform certain actions, implement procedures, and provide grounds for doing something.